

令和2年度 当初予算テーマ **魅力ある雇用づくり 若い世代の活躍の支援 人と地域のつながりの創出**

**1 魅力ある雇用づくり**

安心して働くことができる雇用の創出、産業の活性化

新規	小規模企業支援資金融資制度事業	361万5千円
	女性活躍推進に向けた多様な働き方実現事業	327万8千円
	リノベーションまちづくり推進事業	330万円
拡充	農地耕作条件改善事業	8,909万2千円
	農畜産物6次化・ブランド化推進事業	783万2千円
継続	コワーキングスペース「らくり」運営事業	600万4千円
	若者Uターン・地元定着促進事業	803万円

**小規模企業支援資金融資制度事業**

地域企業の活性化を図るため、日本政策金融公庫による「小規模事業者経営改善資金制度」の利用者が負担する利子の一部を補助します。

**リノベーションまちづくり推進事業**

中心市街地に集積する空き家・空き店舗の活用を通じ、地域コミュニティを再生し、新たな雇用を生み出すリノベーションまちづくりを推進します。

**2 若い世代の活躍の支援**

出産・子育てしやすい環境づくり、社会を生き抜く力を育む教育環境の充実

新規	妊産婦医療費助成事業	1,036万円
	園児の散歩道安全対策事業	1,000万円
拡充	ICT教育環境整備事業（小・中学校）	4,191万9千円
	市民オーケストラ設立準備事業	250万円
継続	白河っ子すくすく赤ちゃんクーポン券支給事業	2,444万円
	保育士確保対策事業	300万円
	学校図書館利活用推進事業	3,442万5千円

**妊産婦医療費助成事業**

妊娠期の疾病や負傷は母体だけでなく胎児への影響も懸念されることから、経済的負担を軽減し、妊婦が安心して出産を迎えられるよう、医療費を助成します。

**園児の散歩道安全対策事業**

幼稚園・保育園周辺は、未就学児を中心とした子どもが日常的に集団で移動し、特に安全対策が必要なことから、安全施設などを早急に整備します。

**3 人と地域のつながりの創出**

賑わい創出、魅力の発掘・発信、誰もが活躍できる社会の実現

新規	まちラボ学生プロジェクト支援事業	100万円
	小峰城清水門復元整備事業	827万6千円
	(仮称) 物産交流センター整備事業	618万8千円
	白河QOL向上プロジェクト事業	412万3千円
拡充	ひきこもり自立支援事業	963万7千円
	地域内移動支援事業（公共交通）	1,090万5千円
	函柄入り白河ナンバー普及促進キックオフ事業	111万4千円

**まちラボ学生プロジェクト支援事業**

地域の資源を活用して課題の解決を図るため、大学のゼミやサークル、まちづくりに関心のあるグループなどが本市で研究や活動をする際に経費の一部を支援します。

**小峰城清水門復元整備事業**

小峰城主郭部への入り口として、結界の機能を持つなど、重要な役割を担っていた清水門の復元に向けて、年次計画で事業を実施します。

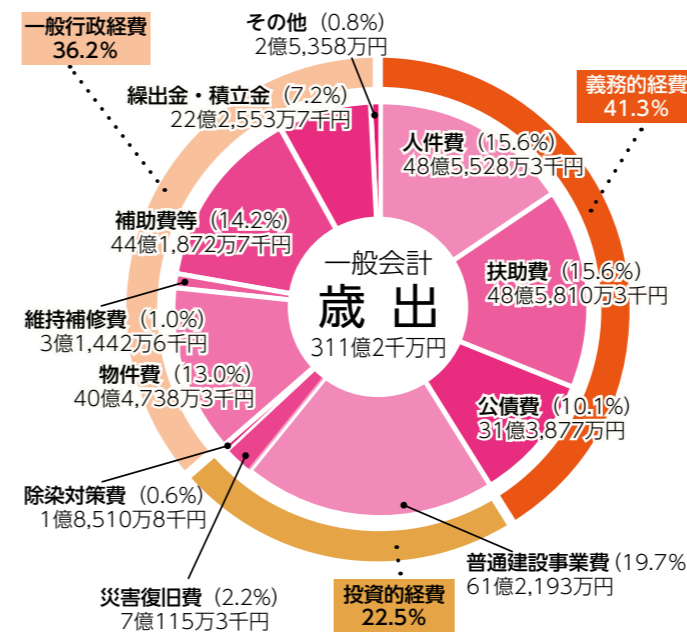
※1～3は、主な事業を抜粋

令和2年度一般会計予算  
**311億2千万円**

予算規模は前年度比+9.9% 額にして28億円増

●一般会計予算規模の推移

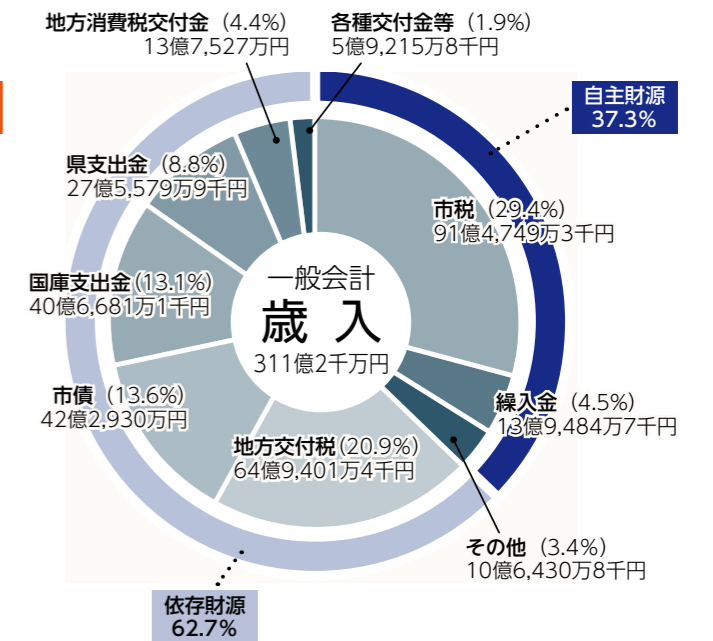
年度	歳出予算額（全体）	
	通常分	除染関係分
平成28年度	377億9千万円	80億7千万円
平成29年度	278億7千万円	12億8千万円
平成30年度	284億6千万円	2億5千万円
令和元年度	283億2千万円	1億8千万円
令和2年度	311億2千万円	1億9千万円



令和2年度  
**当初予算**

今年度の一般会計予算の総額は、311億2千万円となり、前年度予算を28億円（9.9%）上回りました。

台風19号で甚大な被害を受けた農地や道路などの復旧に引き続き全力で取り組みつつ、産業振興や子育て、教育など「人」への支援に重点的に配分するとともに、高齢化社会への対応など福祉の分野にも目配りし、予算に反映させています。



特別会計予算額

会計名	予算額	前年度比 (%)
国有林野払受費	18万7千円	0.0
教育財産	86万8千円	△0.7
小田川財産区	285万2千円	312.1
大屋財産区	77万9千円	93.8
樋ヶ沢財産区	47万円	△7.3
土地造成事業	4,824万2千円	△3.5
国民健康保険	56億1,101万2千円	0.3
後期高齢者医療	6億6,463万6千円	8.4
介護保険	58億2,977万4千円	△0.0
地方卸売市場	2,230万8千円	9.8
公共下水道事業	-	皆減
農業集落排水事業	-	皆減
個別排水処理事業	-	皆減
合計	121億8,112万8千円	△20.0

公営企業会計予算額

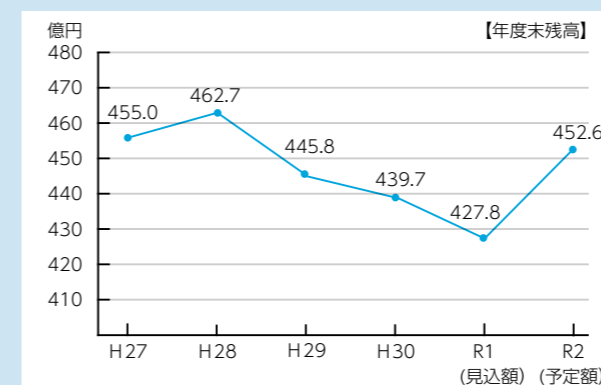
会計名	予算額	前年度比 (%)
水道事業	22億892万8千円	△10.4
工業用水道事業	1億2,728万3千円	4.2
下水道事業	43億4,724万4千円	皆増
合計	66億8,345万5千円	158.3

予算や決算の状況は、市ホームページで公表しています。

☎本庁舎財政課 内2333

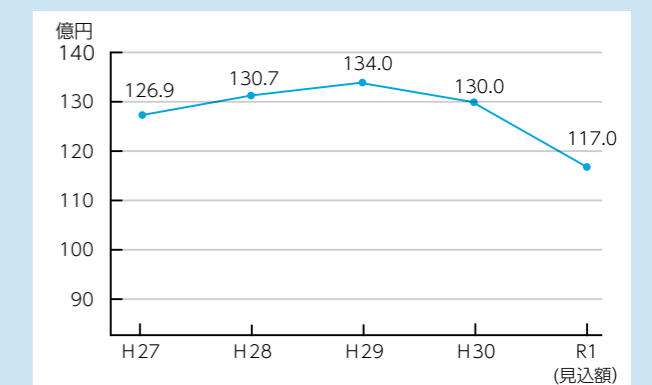


市債・企業債の推移



市の「借入金」に当たる市債（臨時財政対策債を除く）・企業債は、計画的に借り入れと返済を行っています。

基金の推移



市の「貯金」に当たる基金は、住民福祉の向上や教育・文化の振興など、目的に応じて有効に活用しながら、将来の健全な財政運営のため、着実に積み立てを行っています。